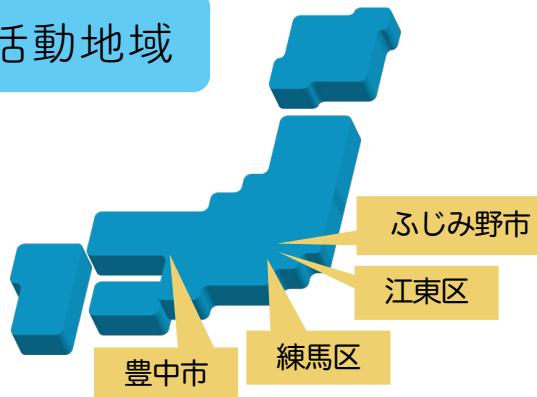


活動地域



課題

さびた防災設備と公助の強いイメージ

公園の防災設備の認知度は低く、良くも悪くも使ったことがある人は稀でメンテナンスもされていないところが多い状況です。また、「公助」の訓練や周知は進んでいますが、「自助」「共助」の必要性を個人個人が自覚しその技術や知識を学ぶ機会はまだまだ少ないといえます。



目指す姿

住民が地域防災を主導する地域づくり



地域で防災設備の維持管理の仕方を知っている人や使ったことがある人が増え、避難所ではない場所の防災設備の維持管理を地域主体で行い、いざという時に「できる」という気持ちで協力し合えるコミュニティになることを目指します。



都立公園や商業施設等で防災啓発や体験、防災設備維持をしています。防災カルタコンテストには330点以上の応募がありました。地域のつながりづくりにニュースポーツも実施。



◆ 火に触れる経験のないこどもたちへの災害時クッキング講座や防災キャンプなどの機会提供を通じた防災啓発をしています。

都立公園制度制定150周年 最優秀企画受賞 (2023年)



◆ 2023年に都立公園制度制定150周年最優秀企画を受賞しました。それ以来、公園防災の啓発を連携して実施しています。

取り組むこと

①コミュニティ防災リーダーとして地域防災の主導人材育成

地域防災の基礎的な知識と地域にある防災設備の使い方を学び、防災倉庫の薪の補充や掃除、劣化の確認などを行います。公園などとの連携活動とともに、子どもたちの育成をする指導者育成です。



②好奇心や探究心を活かし災害時に使える知識や技術を身につける防災青少年育成

好奇心旺盛な子どもたちや青少年が地域社会の一員として自己有用感を育み、災害時に保護者と会えるまで時間がかかっても地域の防災設備や地域の人と協力して過ごせるようにするための継続的な育成活動です。



コミュニティ防災の強化と地域&担い手づくり

私たち

一般社団法人Smartgive 生きる力を育む

2019年から光が丘の公園を中心にコミュニティ活動や防災活動を開始しました(2023年8月法人設立)。年間総数80人のボランティアは半数が高校生や大学生の若者です。



◆ 大きな防災カルタは防災学習にも運動にもチームビルディングにも活用できます。オリジナルのカルタは練馬区立光が丘第二中学校競技カルタ部と一緒に開発しました。



◆ 総合学習、探究学習支援を大阪や東京の小学校で実施しています。地域との連携、探求、課題設定と解決、という学校だけでは難しい内容を、企業や自治体、NPOと官民連携で実施しています。



ACTIVITY PHOTO 2024-2025

都立光が丘公園（練馬区）で、災害時クッキング体験を開催すると、すぐに満員になりました。大きな防災カルタや、防災カルタづくり体験を開始し、練馬区だけでなく大阪府豊中市の地域イベントなどでも実施を開始しました。

一般社団法人Smartgive

smart
give



ACTIVITY PHOTO 2023-2024

前身団体の頃から実施していたコミュニティづくりの一環で、練馬区光が丘にて地域がつながって楽しめるイベントを企画運営しました。また、防災キャンプでは、夏の暑い時期に公園で宿泊をしたり、給水ステーションから水を運ぶ体験を提供し、練馬区危機管理室や都立光が丘公園との連携が開始しました。

一般社団法人Smartgive

smart
give